

## 久留米大学を受診した患者さんへ

「孤立性線維性腫瘍の亜型に対する MRI 診断の有用性に関する研究」の研究に使用する試料、情報、MRI について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の MRI を使用します。

- 1) 期間：2003（平成 15）年 11 月から 2013（平成 25）年 1 月
- 2) 受診科：整形外科 または 複数科にわたるもの
- 3) 対象疾患名：孤立性線維性腫瘍
- 4) 使用する試料、情報：血液、診療情報、MRI

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

**研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。**

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：久留米大学放射線医学講座  
研究代表者：講師 長田周治  
研究分担者：教授 安倍等思  
教授 藤本公則  
准教授 東南辰幸  
所属：久留米大学整形外科学講座  
研究分担者：准教授 平岡弘二

2) 研究の意義と目的：孤立性線維性腫瘍にはいくつかのサブタイプがあり、それぞれ手術後の再発率に違いがあるとの報告があります。MRI により、術前にこれらを正確に区別することは、術式やその後のフォローアップにおいて重要と考えます。目的は、MRI により孤立性線維性腫瘍の亜型の区別が可能かを検討します。

3) 研究の方法：MRI による、孤立性線維性腫瘍の形態的な評価に加えて、信号パターン、拡散強調画像による定量的評価、造影剤を用いたダイナミックスタディによる造影パターンなどを検討します。

4) 研究期間：平成 28 年 2 月倫理委員会承認後～平成 33 年 1 月 31 日

5) 上記の試料（情報）の使用を選定した理由：MRI 検査は、組織コントラスト分解能が高く、軟部腫瘍診断において最も信頼性の高い検査であり、術前検査で一般的に行われる検査であるため。

- 6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：被験者のプライバシー及び個人情報保護に十分配慮します。研究責任者は、データ等の保護に必要な体制を整備します。研究で得られた被験者データを本研究以外の目的以外で使用しません。
- 7) 研究成果の発表の方法：本研究での研究成果は、放射線医学関連の学会および、学術誌へ論文発表します。
- 8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はありません。
- 9) 事務局、問い合わせ、連絡先：  
代表者氏名：長田 周治  
所属、職名：久留米大学放射線医学講座、講師  
住所：郵便番号 830-0011  
福岡県久留米市旭町 67  
電話番号 0942-31-7576  
FAX: 0942-32-9405